



桃原秀雄町長

はじめに

はいさいぐすーよー

ちゅうがなびら。

令和5年3月定例会の開会にあたり、議員各位のご健勝を心からお喜び申し上げますとともに、日々のご精励に対し深く敬意を表します。

令和5年度の当初予算案先立ち、まず、町政運営の基本姿勢及び主要施策を申し上げ、議員各位並びに町民の皆様への御理解と御協力を賜りたいと存じます。

政府においては、成長と分配をともに高める「人への投資」を始め、科学技術・イノベーションへの投資、スタートアップへの投資、グリーントランスフォーメーション（GX）、デジタルトランスフォーメーション（DX）への投資を柱とする「新しい資本主義」の実現に向けた重点投資を方針としているところとす。

あわせて少子化対策・こども政策の充実や新しい資本主義が目指す民間の力を活用した社会課題解決に向けた取り組みや多様性に富んだ包摂社会の実現、一極

集中から多極化した社会をつくり地域を活性化する改革の方向性が示されており、ます。

沖縄県におきましては昨年、本土復帰50周年を迎えました。これまで沖縄振興策のもとインフラ整備が進められ、本土との格差は縮小されたものの、生活水準はなお、全国との差があります。

復帰50年の節目の年にスタートした「新・沖縄21世紀ビジョン基本計画（沖縄振興計画）」における施策の展開に当たっては、国際社会全体の共通目標であり、本計画で掲げる5つの将来像にも重なるSDGsを取り入れ、「持続可能な沖縄の発展」と「誰一人取り残さない社会」を目指すこととされております。

また、計画目標の実現に向けては、新型コロナウイルス感染症の拡大による危機的状況からの復興が前提となることから、ウィズコロナの新しい生活様式から感染収束後におけるポストコロナのニューノーマル（新たな日常）にも適合する「安全・安心で幸福が実感できる島」を形成し、アジア・

太平洋地域の平和に貢献し、アジアをはじめ世界と我が国の懸け橋となるとともに、持続可能な発展メカニズムを構築しつつ、県民すべての幸福感を高め、併せて我が国の持続可能な発展に貢献することを目指すと考えています。

本町において昨年は、町民の皆様並びに関係各位の温かいご支援のもと、町制施行20周年記念事業等を実施することができました。厚く御礼を申し上げます。

また、昨年は県知事選挙、市町村長選挙が行われた選挙の年でありました。私も多くの町民の皆さまのご支援を得て初当選を果たすことができ、第6代久米島町長に就任いたしました。お寄せいただいたご期待にこたえるべく、町民の皆さまをはじめ、関係団体並びに各企業、本町と関わるすべての皆さまとともに、「すべての世代が生き生きと暮らせるまちづくり」に向け取り組んでまいります。

町内経済におきましても、長引く新型コロナウイルス感染症の影響を受け、厳しい状況が続いておりますが、本町を訪れる観光客の

皆さまも増えてきており、ようやく経済活動が再開されてきております。

政府におきまして、新型コロナウイルス感染症法上の位置づけを「5類」に移行することとしております。5類感染症になると、自宅療養や待機を要する法的根拠がなくなりやすくなります。

医療体制が脆弱な本町におきまして、濃厚接触者や感染者の方は、周囲に感染を広げないための感染対策を普段よりもしっかり行っていたり、必要があります。地域経済の回復に取り組むにあたって、持続性のある感染症に強い社会を目指して、町民の皆さまにも引き続き流行状況に合わせた感染対策をお願いいたします。それでは、町政運営の基本的な考え方を申し上げます。まず、松くい虫対策についてであります。

令和3年9月に初めて松くい虫による枯れ松が確認され、その後も被害が拡大しております。その対策として、守るべき松の木・松林に被害を及ぼさないために、薬剤樹幹注入や、被害地との境界部での伐倒駆除を集中して行っており、既